

ウォーカブルな駅前広場をめざす目的

福山駅周辺は備後圏域の玄関口であり、経済の好循環を生み出すハブ機能の役割が求められると同時にエリア全体をウォーカブルな空間に転換していく必要があります。

その核となる駅前広場を交通結節機能と都市の広場機能が融合する広場とすることで、駅周辺への人の流れを生み出し、良質な民間投資を呼び込める魅力とにぎわいのある空間をめざします。

そのため、駅前広場という限られた敷地だけで考えるのではなく、周辺エリアの空間も含めて駅前広場のあり方について検討を行います。

